

2015年4月6日

報道関係者 各位

大和リース株式会社  
代表取締役社長 森田俊作

■ 大阪府内で初となる水面を利用した太陽光発電施設

## 「DREAM Solar フロート1号@神於山」を着工します

大和ハウスグループの大和リース株式会社（本社：大阪市、社長：森田俊作）は、大阪府岸和田市のため池「傍示池（ほうじいけ）」を利用し、総出力約1MW（メガワット）の太陽光発電施設「DREAM<sup>※1</sup> Solar（ドリームソーラー）フロート1号@神於山（こうのやま）」を4月14日（火）より着工します。

本物件は2014年10月に大阪府、岸和田市、傍示池の施設・財産管理者である岸和田市神於山土地改良区と当社の4社で、事業推進協力について連携協定を締結しました。2015年10月（予定）より、当施設で発電した電力を関西電力株式会社に全量売電します。

※1. D:Daiwa House Group（大和ハウスグループ）、R:Renewable（再生可能）、E:Energy（エネルギー）、A:Asset（資産）、M:Management（管理）。



完成予想図

### ■「DREAM Solarフロート1号@神於山」について

当施設は、大阪府内では初めてのため池を利用した太陽光発電施設となり、2015年10月(予定)より20年間の発電事業を行います。

当社が発電事業者となり、建設から運営までを大和ハウスグループが行うことで、再生可能エネルギー事業のワンストップサービスを提供します。

また、売電収入の一部を大阪府及び岸和田市に対して寄付を行い、環境、エネルギー、農業関連の施策推進に利用いただく予定です。

現在、国内では低炭素社会の実現に向けて、太陽光発電所の建設が活発化しています。当社においても再生可能エネルギー関連事業に取り組んでおり、2015年4月1日現在では国内計28カ所(総出力約26.6MW)で稼働しています。

今後も大和ハウスグループは、「風」「太陽」「水」の再生可能エネルギー資源の有効活用をテーマに自社未利用地の活用をはじめ、自治体や各企業が保有する未利用地なども活用した再生可能エネルギー事業について、創業以来培ってきた技術力を活かし、2018年度までに計200MWの再生可能エネルギーによる発電事業に取り組みます。

### ■太陽光発電施設の概要

事業名称	DREAM Solar フロート1号@神於山	
所在地	岸和田市神於山土地改良区 傍示池 岸和田市尾生(おぶ)町4006	
敷地面積	20,389 m <sup>2</sup>	
使用面積	約10,000 m <sup>2</sup> (傍示池満水面積: 約16,000 m <sup>2</sup> )	
発電事業者	大和リース株式会社	
施設・財産管理者	岸和田市神於山土地改良区	
設計・施工	大和ハウス工業株式会社	
着工(起工式)	2015年4月14日	
竣工(予定)	2015年9月30日	
売電開始(予定)	2015年10月1日	
事業期間(予定)	20年間	
太陽電池最大発電出力値	約1,044kW	
太陽電池モジュール	ジンコソーラー製(出力260W、4,016枚)	
年間予想発電電力量	約1,180,520 kWh/年	
年間売電売上(見込み)	約3,776万円(見込み)	
投資額(総事業費)	約5億円	
環境貢献効果	消費電力量換算	約328世帯分/年 <sup>※2</sup>
	CO <sub>2</sub> 削減交換換算	約575t-CO <sub>2</sub> /年 <sup>※3</sup>

※2. 大阪府エネルギー政策課数値より。

※3. 平成24年電力事業連合会数値より。

■建設場所



大和ハウスグループの太陽光発電事業  
**DREAM solar**



未来をつなごう  
We Build **ECO**

私たちは、「未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、  
現在と未来をつないでいきたい」との思いのもと、すべての企業活動を通じて、  
地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

●本件に関するお問合せ●

大和リース株式会社 本社 広報販促室

tel : 06-6942-8068